



新和小だより

第4号

令和5年6月30日発行

〒339-0027 埼玉県さいたま市岩槻区大字尾ヶ崎1252番地
電話番号 048(798)0003
Webページアドレス <https://niwa-e.saitama-city.ed.jp>

みんなでつくる
みんなの学校

自立・尊重・創造

児童数
合計 191名

「こころをかたちに」

校長 樋浦 康光

日に日に暑さや驟雨が増し、夏本番が近づいてまいりました。職員室前で一年生が育てている朝顔も元気に咲き始め、子どもたちと一緒に梅雨明けを待ち望んでいるかのようです。

先日、五年生が授業の一環として、私に「校長先生は、新和小のどんなところがよいと思いますか。」とインタビューをしてくれました。言葉遣いや聞く態度はとても丁寧で、しっかりとメモを取る姿はとても立派でした。インタビューの目的を聞いたところ、9月に実施する「自然の教室」で一緒に行く和土小学校の五年生へ、事前に新和小学校の魅力を紹介するのだそうです。また、六年生は「親善バスケットボール大会」に参加してきました。六年生はこの日のために体育の授業や休み時間に一生懸命練習してきました。当日は、和土小学校、川通小学校の六年生と試合を行い、お互いに真剣勝負をし、終わった後は気持ちのよい挨拶をしたり健闘をたたえ合ったりして交流を深めることができました。

さて、令和5年4月に「こども基本法」が施行され「こども家庭庁」が設置されました。「こども基本法」は、こどもの権利について規定し、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指すことを目的としています。本校でも、子どもたちの基本的な人権を尊重し、教育活動にあたってまいります。一人ひとりの人権を大切にするには、自分や相手を大切にすることが求められます。そうした「こころ」や「思い」を言葉や行動にできればさらに効果が上がることでしょう。そこで、さいたま市出身の詩人、宮澤章二さんが書いた詩を紹介します。

～行為の意味～

—あなたの<こころ>はどんな形ですか と 人に聞かれても答えようがない
自分にも他人にも<こころ>は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに<こころ>はだれにも見えない けれど<こころづかい>は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の<思い>は見えない けれど<思いやり>はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから
あたたかいこころが あたたかい行為になり やさしい思いがやさしい行為になるとき
<こころ>も<思い>も 初めて美しく生きる
—それは 人が人として生きることだ

出典；宮澤 章二 著「行為の意味 青春前期のきみたちに」（ごま書房新社）

私たちがこころの内にある愛情や慈しみを、一歩踏み出して「行為」にしたとき、人とのつながり（家庭・地域等）で連鎖していき、Well being（幸福）な社会を創っていくことになると思っています。